

# 唐代科挙の文学世界



[唐代科挙の文学世界 下载链接1](#)

著者:高木重俊

出版者:研文出版

出版时间:2009-2

装帧:单行本

isbn:9784876362950

中国史上はじめて科挙という社会的事象が定着し、士人の精神や人生に新たな影響を与えたのは唐代の三百年である。詩文をもって選抜する試験は、文学史に初めて新たな題材を提供しただけでなく、以後千年にわたり、良きにつけ悪しきにつけてモデルとなった。科挙の歴史的展開と変遷を見るためにも、唐代の科挙文学の世界は重要なのである。ただ、話題は科挙だけにとどまらず、銓選(任官選考)や推挙を要請する士人の行動にも及んでいる。名利の世界への飛翔を願った唐代の知識人が、科挙と銓選という選抜のシステムにいかに立ち向かい、その得喪の結果から生じた思いをいかに文字に託したか、さらにまた、幸いに官人としての身分を得ても、およそ順調な官僚生活とは無縁だった大多数の士人たちが、文章に託してどんなメッセージを歴史に書き込んだのかを見ようとした。

作者介绍:

高木重俊，1944年、長野県生まれ。東京教育大学大学院文学研究科修士課程修了。  
北海道教育大学教授。文学博士

目录: 第1章 「至公」に寄せる思い

はじめに

古代の伝承から ほか

第2章 韻文篇

受験生たちの長安

及第詩 ほか

第3章 散文篇

干謁の文章

筆記小説から

第4章 貢挙・銓選と「文章」

はじめに

文章と経国・立身 ほか

第5章 詩人任華の咆哮

任華における李白・杜甫

任華の自薦と文学

・・・・・ (收起)

[唐代科挙の文学世界 下载链接1](#)

标签

评论

[唐代科挙の文学世界 下载链接1](#)

书评

[唐代科挙の文学世界 下载链接1](#)